

令和 2 年 度

財政援助団体等監査結果報告書

井 原 市 監 査 委 員

井 監 第 3 7 号
令和 3 年 3 月 2 日

井 原 市 長 殿
井原市議会議長 殿

井原市監査委員 長 野 隆

井原市監査委員 三 輪 順 治

令和 2 年度財政援助団体等の監査の結果について

地方自治法第 1 9 9 条第 7 項の規定並びに井原市監査基準に基づき、令和 2 年度財政援助団体等の監査を実施したので、同条第 9 項の規定により、その結果を次のとおり報告します。

目 次

1. 監査の区分・対象・所管課	1
2. 監査の期日	1
3. 監査の範囲	1
4. 監査の方法	1
5. 監査の結果	1
【財政援助団体】	
社会福祉法人 井原市社会福祉協議会	2
公益社団法人 井原市シルバー人材センター	5
【指定管理者】	
北振バス株式会社	8

1. 監査の区分、対象、所管課

区 分	対 象	所管課
財政援助団体	社会福祉法人 井原市社会福祉協議会	福祉課
	公益社団法人 井原市シルバー人材センター	福祉課
指定管理者	北振バス株式会社	企画課

2. 監査の期日

令和3年2月8日

3. 監査の範囲

令和元年度における財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理について監査した。

4. 監査の方法

井原市が令和元年度において財政援助等を行った各種団体のうちから、対象団体を抽出し、監査を実施した。

監査当日においては、補助金または指定管理料が適正に収納され、目的に従って使用されているか。また、法令及び協定書に沿って適正に管理運営が行われているかに重点を置いている。

5. 監査の結果

内容については、次のとおりである。

令和2年度財政援助団体監査結果報告書

第1. 監査対象

団体名 社会福祉法人 井原市社会福祉協議会
補助金額 53,515,464 円
所管課名 福祉課

第2. 監査期間

令和3年2月1日 ～ 令和3年2月24日
実施日 令和3年2月8日

第3. 実施場所

井原市井原町1110
社会福祉法人 井原市社会福祉協議会

第4. 監査の方法

井原市が令和元年度において財政的援助を行った 社会福祉法人 井原市社会福祉協議会
について、補助金が適正に収納されているか、また、交付した目的に従い適正に執行されて
いるかに重点をおき、関係書類等を審査した。

第5. 監査の結果

監査を実施した結果、当該補助金は、交付目的に従い適正に執行されていた。また、経理に
ついて関係書類を監査した結果、適正に処理されていた。
なお、概要等については、次のとおりである。

◎ 社会福祉法人 井原市社会福祉協議会（補助金関係）

1. 概 況

社会福祉法に基づく社会福祉法人で、地域福祉活動の中核的役割を担っており、市民を会員とし、医療・保健・福祉の関係者や行政機関と連携して、「住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせる“ふれあい・たすけあい・ささえあい”のまちづくり」を目指し活動している民間の福祉団体である。

2. 補助金の状況

令和元年度において、井原市から社会福祉法人 井原市社会福祉協議会へ交付した監査対象の補助金は、次のとおりである。

(単位：円)

補助事業名	補助金額	備 考
井原市社会福祉協議会運営事業補助金	53,191,258	
屋内ゲートボール場運営事業補助金	324,206	
合 計	53,515,464	

3. 決算状況

令和元年度事業の収支決算は、次のとおりである。

(1) 収 入

(単位：円)

科 目	決 算 額	備 考
会費収入	5,288,100	
寄付金収入	3,619,000	
経常経費補助金収入	61,983,464	井原市補助金等
受託金収入	58,685,711	井原市委託金等
介護保険事業収入	98,029,420	通所介護等介護収入
その他収入	31,360,825	その他事業収入等
合 計	258,966,520	

(1) 支 出

(単位：円)

科 目	決 算 額	備 考
人件費支出	170,530,346	
事業費支出	53,874,323	水道光熱費、消耗器具備品費等
事務費支出	13,043,965	業務委託費、車両費等
助成金支出	8,203,152	
その他支出	2,482,400	
合 計	248,134,186	

当期資金収支差額 10,832,334 円

4. 事業の概要

社会福祉法人井原市社会福祉協議会は、

- 地域福祉・在宅福祉の総合的推進と支援活動の強化
- 地区社協の活性化・地区ボランティアセンター活動の推進
- 介護保険事業の改正に沿った適正な経営とサービスの充実
- 障害者の自立に向けた相談事業・支援事業の充実

を重点目標として事業を行っている。

令和2年3月31日の会員数 11,838 人

5. むすび

今後も、社会福祉事業の健全な発達、活性化により地域福祉の推進を継続されることを望む。

令和2年度財政援助団体監査結果報告書

第1. 監査対象

団体名 公益社団法人 井原市シルバー人材センター
補助金額 16,100,000 円
所管課名 福祉課

第2. 監査期間

令和3年2月1日 ～ 令和3年2月24日
実施日 令和3年2月8日

第3. 実施場所

井原市西江原町2923-1
公益社団法人 井原市シルバー人材センター

第4. 監査の方法

井原市が令和元年度において財政的援助を行った公益社団法人 井原市シルバー人材センターについて、補助金が適正に収納されているか。また、交付した目的に従い適正に執行されているかに重点をおき、関係書類等を審査した。

第5. 監査の結果

監査を実施した結果、当該補助金は、交付目的に従い適正に執行されていた。また、経理についても関係書類を監査した結果、適正に処理されていた。
なお、概要等については、次のとおりである。

◎ 公益社団法人 井原市シルバー人材センター

1. 概況

公益社団法人 井原市シルバー人材センターは、豊富な知識・経験・技能を持つシルバー世代が仕事や社会奉仕活動等を通じて、生きがいのある生活を送り、高齢者の能力を生かした活力ある地域社会に貢献することを目的としている。

健康で働く機会が欲しいという会員に、臨時的かつ短期的又は軽易で高齢者に向けた安全な仕事を紹介している。

2. 補助金の状況

令和元年度において、井原市から公益社団法人 井原市シルバー人材センターへ交付した監査対象の補助金は、次のとおりである。

(単位：円)

補助事業名	補助金額	備考
公益社団法人井原市シルバー人材センター運営事業補助金	16,100,000	
合計	16,100,000	

3. 決算状況

令和元年度事業の収支決算は、次のとおりである。

(1) 収入

(単位：円)

科目	決算額	備考
受託事業収益	134,961,538	
労働者派遣事業等受託収益	12,485,027	
介護予防日常生活支援総合事業収益	1,446,000	
受取会費	1,268,250	
受取補助金等	32,400,000	井原市補助金等
雑収益	148,242	受取利息等
合計	182,709,057	

(1) 支 出

(単位：円)

科 目	決 算 額	備 考
事業費支出	176,730,566	
管理費支出	5,303,312	
合 計	182,033,878	

当期経常増減額 675,179 円

4. 事業の概要

公益社団法人 井原市シルバー人材センターは、

- 会員同士が交流し、喜び楽しむ魅力あるセンター作りを進める。
- シルバー人材センターが地域の担い手として、家事援助を中心とした「福祉・家事援助サービス事業」や「介護予防・日常生活支援総合事業」を、実施している。
- 会員の健康管理、安全対策に重点を置きながら安全就業に努める。

令和2年3月31日の会員数 397 人

5. むすび

今後も、地域の高齢者が、「自主・自立・共働・共助」の理念のもと、高齢者の就業に関して、安全と適正さに配慮しつつ、一丸となって事業推進に取り組むことにより地域社会に貢献されることを望む。

井原市指定管理者監査結果報告

第1. 監査対象

指定管理者 北振バス株式会社

対象施設 井原バスセンター

第2. 監査期間

令和3年2月1日 ～ 令和3年2月24日

実施日 令和3年2月8日

第3. 実施場所

井原市井原町700番地1

井原バスセンター

第4. 監査の方法

事前に決算書、事業報告書、基本協定書、年度協定書等関係書類の提出を求め、書類審査実施後、井原バスセンターにおいて、関係帳簿・証拠書類の提示を求め、関係職員より説明を聴取し、指定管理料が適正に収納され、目的に従って使用されているか、また法令及び協定書に沿って適正に管理運営が行われているかに重点をおき審査した。

第5. 監査の結果

当該指定管理者は、条例及び関係法令等の定めるところにより、基本協定書、年度協定書に沿って適正に管理運営が行われており、当該指定管理料は目的に従い適正に執行されていた。

なお、概要等については、次のとおりである。

◎ 北振バス株式会社（指定管理関係）

1. 概況

井原バスセンターは、地域公共交通の拠点として整備したものであり、利用者の安全を図り、バス発着所としての機能を最大限に生かせる施設であることはもとより、井原駅を結ぶメイン道路に位置することから井原市を象徴する施設として、平成26年度に整備したものの。

利用者の利便性を確保するため、待合所に近い場所に乗降所を集約したほか、地域の交流の場として多目的室を設置している。

民間のノウハウを最大限に活かし、効果的・効率的な施設の管理運営に努めながら、より質の高いサービスの提供及び経費の節減等を図るため、当初から指定管理者制により管理運営を行っている。

2. 指定管理の状況

基本協定締結日	平成27年4月1日
年度協定締結日	平成31年4月1日
指定期間	平成27年4月1日～令和2年3月31日
令和元年度指定管理料	5,800,000円

3. 施設の利用状況等

令和元年度の井原バスセンター施設の利用状況は、乗降所、待合等以外の施設では、地域の交流の場として多目的室があり、利用件数116件、2,877人、利用料236,050円である。

4. 決算状況

平成31年4月1日～令和2年3月31日の収支決算は次のとおりである。

(1) 収入

(単位:円)

科目	収入済額	備考
受託収入	5,800,000	井原市指定管理料
施設利用料	236,050	多目的室利用料
負担金	230,738	電気料金負担金 自動販売機電気料金 96,491 乗務員休憩室電気料金 119,200 水道料金負担金 洗車場下水道料金 15,047
預貯金利息	34	
合計	6,266,822	

(2) 支 出

(単位：円)

科 目	支 出 済 額	備 考
人件費	3,261,220	施設管理運営及び利用料金収受に係る人件費
消耗品費	101,495	トイレトペーパー等
電気料金	816,942	
上水道料	39,702	
下水道料	50,955	
修繕料	82,830	太陽光モニター等
通信運搬費	31,782	電話使用料
保険料	3,960	賠償責任保険
委託料	1,605,535	空調・換気扇設備保守点検 222,360 消防設備定期点検 47,960 自動ドア保守点検 98,064 通常清掃業務委託 756,550 特別清掃業務委託 301,760 廃棄物処理業務委託 178,841
使用料	37,498	CATV視聴料、NHK受信料
預貯金利息所得税	4	預貯金利息所得税
合 計	6,031,923	

差引収支 234,899 円

5. むすび

井原バスセンターは、平成27年度の施設設置当初から北振バス株式会社が指定管理者として管理運営を行っている。今後も、バス利用者の利便性の確保、効率的で安全円滑な管理運営を望む。